

- 問1 「二条河原の落書」には、当時の京都で「繪旨（りんじ）」が乱発され、社会が混乱している様子が記されています。この「繪旨」とはどのようなものですか。その性質として正しい説明を選びなさい。（2021年 和歌山県公立入試 類似）
- 鎌倉幕府の執権が武士の土地裁判のために定めた法律
 - 室町幕府が借金を帳消しにするために出した法令
 - 後醍醐天皇が自らの意向を直接伝えるために出した命令書
 - 平氏が貴族の反乱を抑えるために出した軍事的な指令
- 問2 室町時代後半の京都では、応仁の乱によって荒廃した町の復興を、有力な商工業者たちが中心となって進めました。彼らについて述べた文として、自治の仕組みや文化的な背景を踏まえて正しいものを選びなさい。（2019年 茨城県公立入試 類似）
- 町衆と呼ばれ、自治組織を結成して祇園祭などの伝統行事を支える文化の担い手ともなった。
 - 地侍と呼ばれ、農民をまとめて惣村をつくり、領主に対して年貢の減免を求める一揆を主導した。
 - 会合衆と呼ばれ、豪や土塁を築いて大名の侵入を防ぎ、鉄砲の普及に大きく貢献した。
 - 座と呼ばれ、貴族や寺社に税を納めることで、商品の販売や製造の独占権を認められた。
- 問3 足利義満が行った外交政策と国内統治に関する記述として、歴史的な事実と一致するものはどれですか。（2022年 岐阜県公立入試 類似）
- 関所を撤廃して楽市・楽座を導入し、自由な商工業の発展を促した。
 - 元（モンゴル帝国）の侵攻を退けた後、博多に防塁を築いて防衛を強化した。
 - 明の皇帝から「日本国王」の称号を授かり、朝貢の形式をとって貿易を行った。
 - 分国法を制定して守護大名の権限を制限し、幕府の直轄領を全国に拡大した。
- 問4 室町時代に明との貿易を行う際、日本側が「勘合」と呼ばれる札を使用した目的を説明したものとして、最も適切なものを選択してください。（2024年 栃木県公立入試 類似）
- 国内の銅銭が不足したため、銅の流出を厳しく管理するため
 - 元（モンゴル）の再来に備え、明と軍事同盟を結ぶための証拠とするため
 - 正式な貿易船と、倭寇（わこう）と呼ばれる海賊船を区別するため
 - キリスト教の布教を目的とした宣教師の入国を制限するため
- 問5 室町時代、第3代將軍の足利義満が明（みん）との間で始めた正式な貿易において、当時活動していた海賊である倭寇（わこう）と、幕府が認めた正式な貿易船を明確に区別するために使用された、二枚一組の割符（札）を何と呼びますか。（2018年 愛媛県公立入試 類似）
- 御朱印
 - 勘合
 - 日宋貿易証
 - 朱印状
- 問6 室町時代の陸上輸送において、馬の背に荷物を載せて運んだ運送業者は、その組織力を背景にしばしば徳政一揆の中心となりました。この運送業者を何と呼びますか。（2026年 京都府公立入試 類似）
- 問
 - 惣村
 - 座
 - 馬借
- 問7 奈良市柳生にある石碑には、1428年の正長の土一揆に際して、徳政が行われた事実を後世に伝える文章が刻まれています。この石碑が象徴している、当時の民衆の要求や行動の目的として最も適切なものはどれですか。（2026年 福岡県公立入試 類似）
- 商業の利権を独占するため、有力な寺社や公家に税を納めること
 - 借金の支払いを免除するよう、幕府や高利貸しに強硬に迫ること
 - 領主の交代を求めて、特定の村落が他の地域と協力して武力行使すること
 - 信仰を共にする門徒たちが、守護大名の支配を排除して自治を行うこと
- 問8 15世紀、沖縄本島において尚巴志（しょうはし）が三山を統一して成立した琉球王国の政治・文化の中心地であり、当時の東アジアにおける海上交易の象徴となった場所はどこですか。（2022年 岡山県公立入試 類似）
- 江戸城
 - 太宰府
 - 安土城
 - 首里城
- 問9 室町時代後期の京都において、戦乱からの復興とともに、高度な技術を用いた絹織物生産が特に盛んになった地域はどこですか。（2023年 香川県公立入試 類似）
- 西陣
 - 堺
 - 近江
 - 博多
- 問10 14世紀の東アジアでは、中国で明が建国されて元が北方へ退き、朝鮮半島では高麗に代わって朝鮮国が建国されるなど、大きな社会の変化が起こりました。この時期、日本や中国、朝鮮半島の沿岸部で「倭寇」の活動が活発化した主な要因として、当時の各国に共通していた背景を説明したものを選びなさい。（2015年 大分県公立入試 類似）
- 各国が鎖国政策を採用したことで、正規の貿易ルートが完全に遮断されたため
 - 元が日本に侵攻した元寇の影響により、東アジアの制海権が完全に失われたため
 - 各国の国内の情勢が不安定で、沿岸部の取り締まりが十分ではなかったため
 - 各国で強力な中央集権体制が整い、対外進出が積極的に推奨されたため
- 問11 奈良時代から室町時代にかけての、日本と大陸との交流や文化の推移について述べた説明として、歴史的な時系列が正しいものはどれですか。（2020年 大分県公立入試 類似）
- 奈良時代に国風文化が成立し、平安時代に西アジアとの交流が絶えた後、平安末期に勘合貿易、室町時代に日宋貿易が行われた。
 - 平安時代に国風文化が広まった後に正倉院へ西アジアの品々が納められ、鎌倉時代の勘合貿易、室町時代の日宋貿易へと展開した。
 - 奈良時代に勘合貿易が行われ、平安時代に日宋貿易が盛んになった後、鎌倉時代に国風文化が栄え、室町時代に正倉院が建立された。
 - 奈良時代に西アジアの品々が正倉院に収められ、平安時代に国風文化が発達した後、平安末期の日宋貿易、室町時代の勘合貿易へと展開した。
- 問12 中世（鎌倉・室町時代）と近世（江戸時代）の日本の貨幣流通状況を比較したとき、中世の経済的特徴を示す背景として最も適切な記述を選択してください。（2025年 岡山県公立入試 類似）
- 定期市における貨幣の使用を禁じ、特定の有力な商人のみが外国貨幣を取り扱える仕組みを整えていた。
 - 金座や銀座を各地に設置することで、金・銀・銭からなる全国共通の貨幣制度を独自に確立していた。
 - 国内で統一された貨幣体系が未整備であり、外国との交流によって流入した貨幣が国内流通の主役であった。
 - 中国からの貨幣輸入が途絶えたため、国内の主要な経済活動はすべて米による物々交換に限定されていた。
- 問13 室町幕府の政治組織において、足利氏の一門から選ばれ、將軍に次ぐ最高の役職として將軍を補佐し、政務を統括した職を何といいいますか。（2024年 山梨県公立入試 類似）
- 六波羅探題
 - 評定衆
 - 執権
 - 管領

答え合わせ・解説

問1	答え 3 後醍醐天皇が自らの意向を直接伝えるために出した命令書	建武の新政において、後醍醐天皇はそれまでの先例や慣習を否定し、すべての物事を天皇の直接の意志である「綸旨」によって決定しようとしていました。しかし、土地の所有権などをめぐって内容の矛盾する綸旨が次々と出されたことが、武士たちの大きな混乱と反感を買う原因となりました。
問2	答え 1 町衆と呼ばれ、自治組織を結成して祇園祭などの伝統行事を支える文化の担い手ともなった。	京都の「町衆（まちしゅう）」は、法華一揆などを通じて団結を強め、自治的な組織を運営しました。彼らは単に経済活動を行うだけでなく、茶の湯、連歌、能楽、そして戦乱で中断していた祇園祭の再興など、中世から近世にかけての豊かな都市文化を支える重要な役割を果たしました。会合衆は堺、座は特権的な商工業者組合、地侍は武士化した農民を指します。
問3	答え 3 明の皇帝から「日本国王」の称号を授かり、朝貢の形式をとって貿易を行った。	義満は経済的な利益を重視し、明の皇帝に臣下としての礼をとることで「日本国王」として認められました。これにより、幕府が貿易の実権を独占し、莫大な利益を背景に強力な権力を行使することが可能になりました。
問4	答え 3 正式な貿易船と、倭寇（わこう）と呼ばれる海賊船を区別するため	当時の東シナ海では倭寇による海賊行為が横行しており、明はこれに強く抗議していました。足利義満は明との国交を樹立するにあたり、明から発行された「勘合」という帳簿の割り印を照合することで、正式な朝貢貿易船であることを証明しました。これにより、私的な貿易や海賊行為を排除する仕組みが作られました。
問5	答え 2 勘合	室町幕府の全盛期を築いた足利義満は、明の皇帝から「日本国王」の称号を得て、正式な国交を結びました。当時、東シナ海などでは「倭寇」と呼ばれる海賊が略奪行為を行っており、明側はこれに強く抗議していました。そこで、正式な貿易船であることを証明するために、漢字の半分が書かれた「勘合（勘合符）」という割符を、明側が持っている控えと照らし合わせる方式が採用されました。この仕組みを用いた貿易であるため、勘合貿易と呼ばれます。
問6	答え 4 馬借	陸上交通の要所で活躍した「馬借」は、多くの馬と人員を組織して物資を運んでいました。彼らは物流のネットワークを通じて強い団結力を持っていたため、幕府に対して借金の帳消し（徳政）を求める一揆が起きた際には、その行動力を活かして中心的な役割を果たすことができました。座は商工業者の同業者組合、惣村は農民による自治組織を指します。
問7	答え 2 借金の支払いを免除するよう、幕府や高利貸しに強硬に迫ること	奈良県の「柳生徳政碑文」には、徳政によって借金がなくなった事実が刻まれており、当時の民衆が実行行使によって「徳政（借金の帳消し）」を勝ち取ったことを証明する貴重な資料です。土一揆は単なる暴動ではなく、借金で生活が立ち行かなくなった人々が生きるために起こした団結行動でした。
問8	答え 4 首里城	沖縄では1429年に琉球王国が成立し、その居城は中国や日本の影響を融合させた独自の建築様式を持つ政治の拠点となりました。この場所は、明や朝鮮、東南アジア諸国との活発な交流を支える舞台となりました。
問9	答え 1 西陣	応仁の乱の際、西軍の本陣が置かれた場所に職人たちが集まり、絹織物業が発展したことから「西陣」と呼ばれるようになりました。西陣の織物は京都の町衆の経済基盤を支える重要な産業となりました。選択肢にある堺や博多も自治都市として有名ですが、これらは港町としての性格が強い都市です。
問10	答え 3 各国の国内の情勢が不安定で、沿岸部の取り締まりが十分ではなかったため	14世紀の東アジア諸国は、いずれも政権の交代や内乱の最中にありました。日本では鎌倉幕府の滅亡から南北朝の動乱へと続く混乱期にあり、中国では元に代わって明が建国され、朝鮮半島でも高麗から朝鮮国への王朝交代が起きていました。このように各国で国内の情勢が不安定であったため、沿岸部での組織的な海賊行為である倭寇を抑え込む公的な力が弱まり、活動の拡大を許すことにつながりました。
問11	答え 4 奈良時代に西アジアの品々が正倉院に収められ、平安時代に国風文化が発達した後、平安末期の日宋貿易、室町時代の勘合貿易へと展開した。	奈良時代にはシルクロードを通じて西アジアの品々が唐からもたらされ、正倉院に収められました。平安時代には遣唐使の廃止などをきっかけに、日本の風土や生活に合わせた国風文化が成立しました。その後、平安時代末期には平清盛が日宋貿易を推進し、室町時代には足利義満によって明との間で勘合貿易が始まりました。設問の選択肢のうち、この順序を正しく並べているのは一つだけです。
問12	答え 3 国内で統一された貨幣体系が未整備であり、外国との交流によって流入した貨幣が国内流通の主役であった。	江戸時代の幕府が「三貨」と呼ばれる独自の貨幣制度を確立したのに対し、中世の日本では自国で貨幣を作る体制が整っていませんでした。しかし、商業の発展に伴い交換の媒介となる貨幣が必要になったため、中国の王朝から輸入された宋銭や明銭が、民間の売買や徴税の現場で不可欠な存在となりました。このように、他国の経済力や貿易に依存して国内の通貨供給をまかなっていた点が中世経済の大きな特徴です。
問13	答え 4 管領	室町幕府では、將軍を補佐する最高職として管領が置かれました。鎌倉幕府における最高職である執権と混同しやすいため、時代背景とセットで覚えることが重要です。管領は、足利氏の一族である細川氏、斯波氏、畠山氏の3つの家系から交代で選ばれました。

- 問1 土倉や酒屋が金融業を行う際に、当時の日本で主に流通していた貨幣に関する説明として正しいものはどれですか。 (2026年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
| 1. 日明貿易(勘合貿易)などを通じて流入した、永楽通宝などの中国の貨幣 | 2. 各藩が独自に発行し、領内でのみ使用が認められていた藩札と呼ばれる紙幣 | 3. 幕府が国内の鑄造所で独自に製造し、全国に流通させた銅貨 | 4. 金座や銀座において、幕府の管理下で製造された小判などの貴金属貨幣 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|
- 問2 室町時代の1428年、近江の馬借(運送業者)などが中心となり、幕府に対して「借金の帳消し」を求める命令を出すよう要求して起こした大規模な暴動を何といいますか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|------------|-----------|------------|
| 1. 山城の国一揆 | 2. 加賀の一向一揆 | 3. 正長の士一揆 | 4. 島原・天草一揆 |
|-----------|------------|-----------|------------|
- 問3 応仁の乱以後、室町幕府の支配力が弱まったことで、各地で実力のある者が上の身分の者を倒して勢力を広げる社会的な風潮が見られるようになりました。このような風潮を何と呼びますか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|--------|-------|-------|
| 1. 御恩と奉公 | 2. 下剋上 | 3. 徳政 | 4. 寄合 |
|----------|--------|-------|-------|
- 問4 15世紀に成立した琉球王国の形成過程とその後の状況について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2023年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 中山の王であった尚巴志が各地の勢力を統合して建国し、首里を王都として中継貿易を推進した | 2. 元の襲来に対抗するため、沖縄島の有力者が九州の御家人と協力して北部に強固な城郭を築いた | 3. 江戸幕府の鎖国政策に従い、中国との交流を完全に断ち切って薩摩藩の直轄地として統治された | 4. 豊臣秀吉による全国統一の一環として実施された検地により、沖縄全土の石高が確定し首里に奉行所が置かれた |
|--|--|--|---|
- 問5 室町時代に発生した「士一揆」において、農民たちが借金の帳消しを求めて主に襲撃した対象として、最も適切なものを選びなさい。 (2022年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------|------------------|----------------|-----------------|
| 1. 周辺の国を治める守護大名 | 2. 海外との貿易を独占する商人 | 3. 朝廷に仕える公家や貴族 | 4. 土倉や酒屋などの高利貸し |
|-----------------|------------------|----------------|-----------------|
- 問6 11世紀から16世紀にかけての、武士による支配が全国に広まった時期の経済状況について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 土倉や酒屋と呼ばれる業者が金融業を営み、幕府に税を納める一方で大きな富を蓄えた。 | 2. 議会政治の導入とともに、官営模範工場を中心とした近代的な産業の育成が進められた | 3. 律令制度に基づき、公地公民の原則の下で政府が土地と民衆を直接支配した。 | 4. 幕藩体制が確立し、株仲間と呼ばれる商人の組織が幕府から独占販売の特権を得た。 |
|---|--|--|---|
- 問7 室町時代に足利義満が明との間で開始した貿易では、明の皇帝からの文書に周辺諸国の王が挨拶に訪れている様子が記されており、日本からの貢ぎ物に対して礼をもって対応する形式がとられました。このように、相手国の皇帝の臣下となる形式をとることで成立した正式な外交および貿易関係を何といいますか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|----------------|---------|--------|
| 1. 朝貢貿易 | 2. 不平等条約に基づく貿易 | 3. 自由貿易 | 4. 私貿易 |
|---------|----------------|---------|--------|
- 問8 足利義満が明との貿易を推進したことにより、当時の日本国内の経済に与えた影響について述べたものとして、最も適切な説明はどれか。 (2018年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 日本から銀が大量に流出したことで、国内の物価が下落し、自給自足の経済へ戻った。 | 2. 明から大量の銅銭や生糸が輸入されたことで、国内の貨幣経済や産業の発展が促された。 | 3. 鉄砲やキリスト教が伝来したことで、戦国大名の戦い方や思想に大きな変化が生じた。 | 4. 綿花が大量に輸入されたことで、日本国内で独自の綿織物産業が初めて確立された。 |
|--|---|--|---|
- 問9 後醍醐天皇が始めた「建武の新政」に対し、足利尊氏が反乱を起こして京都に幕府を開くに至った歴史的背景とその後の状況について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 高知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 平氏を滅ぼした後に後白河上皇と対立したが、朝廷から征夷大將軍に任命されたことを機に、政治の拠点京都から東国の鎌倉へと移した。 | 2. 有力な守護大名の勢力を抑えるために京都の室町に花の御所を造営し、南北朝の合一を成し遂げることで將軍の權威を全国に知らしめた。 | 3. 恩賞などで公家が優遇されたことに不満を持つ武士の支持を集めて挙兵し、京都に新たな天皇を立てたことで、二つの朝廷が並立する南北朝時代が始まった。 | 4. 元軍の襲来以降に生活が困窮した御家人を救うために徳政令を発布したが、効果がなかったため、自ら新しい幕府を組織して政治の安定を図った。 |
|---|---|--|---|
- 問10 室町幕府の第8代將軍であり、1467年に始まった応仁の乱の時期に將軍職にありました。京都の東山に、禅宗の影響を受けた簡素な美意識を象徴する銀閣(慈照寺観音殿)を建立した人物は誰ですか。 (2016年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足利尊氏 | 2. 足利義政 | 3. 足利義教 | 4. 足利義満 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問11 琉球王国の首里城正殿に掲げられていた「万国の津梁」の鐘の銘文には、自国を「船を操り、万国の架け橋となって貿易を行う国である」という趣旨の内容が記されています。当時の琉球王国が、中国、日本、東南アジアとの間で行っていた貿易の実態を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---------------------------------------|--|
| 1. 日本と中国の間の国交が断絶していたため、武力を用いて貿易ルートを独占した。 | 2. キリスト教の布教を目的としたヨーロッパの国々と、火縄銃を中心とした取引を行った。 | 3. 江戸幕府から許可状を与えられた船を用いて、東南アジアへ銀を輸出した。 | 4. 各地の産物である刀剣、陶磁器、染料などを別の地域へ転売して利益を得た。 |
|--|---|---------------------------------------|--|
- 問12 15世紀に成立した琉球王国において、政治・文化の中心地となり、日本や中国、東南アジアを結ぶ中継貿易の拠点として繁栄した都の名称を次の中から選びなさい。 (2023年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|--------|-------|
| 1. 首里 | 2. 漢城 | 3. 十三湊 | 4. 大都 |
|-------|-------|--------|-------|
- 問13 室町時代、足利義政が京都の東山に慈照寺を建立した時期に栄えた、書院造などが取り入れられ現代の和風建築の基盤となった文化の名称を選択してください。 (2015年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 東山文化 | 2. 北山文化 | 3. 元禄文化 | 4. 桃山文化 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問14 室町幕府の政治体制について、最高職である管領の説明として最も適切なものはどれですか。 (2021年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|--|------------------------------------|
| 1. 北条氏が世襲でその職に就き、実権握って將軍に代わり政治を行った。 | 2. 足利氏の一門である細川・斯波・畠山の三氏が交代で任命され、將軍を補佐した。 | 3. 九州地方の軍事や警察、外交を統括するために設置された地方の長官である。 | 4. 有力な譜代大名の中から複数が選ばれ、月番交代で幕政を運営した。 |
|-------------------------------------|--|--|------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 日明貿易（勘合貿易）などを通じて流入した、永楽通宝などの中国の貨幣	室町時代、日本国内では貨幣の鑄造は行われておらず、日明貿易などによって中国（明）から輸入された永楽通宝や洪武通宝などの銅銭が流通していました。土倉や酒屋はこれらの貨幣を用いて高利貸しなどの金融活動を行っていました。江戸時代の小判や藩札と混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 3 正長の土一揆	室町時代の正長元年に発生した、最初の大規模な土一揆です。運送業者である馬借や近郊の農民たちが団結し、借金の帳消しを意味する「徳政」を求めて蜂起しました。これがきっかけとなり、幕府に対して徳政令の発布を求める動きが広まりました。
問3	答え 2 下剋上	応仁の乱によって幕府や守護大名の支配力が衰えると、下の者が上の者を実力で打ち倒して権力を握る「下剋上（げこくじょう）」の風潮が強まりました。これにより、各地で実力を持った戦国大名が台頭し、日本は戦国時代へと突入していきました。
問4	答え 1 中山の王であった尚巴志が各地の勢力を統合して建国し、首里を王都として中継貿易を推進した	琉球王国は、中山の尚巴志が北山と南山を統一したことで成立しました。統一後は首里城を政治・文化の中心とし、日本、中国、朝鮮、そして東南アジアの品々を売買する中継貿易で大きな富を蓄えました。選択肢にある元寇や太閤検地は、琉球王国の統一とは直接的な関係がありません。
問5	答え 4 土倉や酒屋などの高利貸し	当時の農民は、生活費や年貢の支払いのために、土倉（どそう）や酒屋といった金融業者から借金をしていました。土一揆が発生すると、農民たちはこれらの高利貸しを襲い、借金の証文を破壊したり奪い取ったりすることで、実力行使による債務の免除を狙いました。これは「私徳政」とも呼ばれ、社会不安の一因となりました。
問6	答え 1 土倉や酒屋と呼ばれる業者が金融業を営み、幕府に税を納める一方で大きな富を蓄えた。	室町時代を中心とするこの時期は、農業生産力の向上を背景に商工業が大きく発展しました。特に京都などの都市部では、質屋を営む「土倉」や、酒造業の傍らで高利貸しを行った「酒屋」といった金融業者が台頭しました。室町幕府はこれらの業者に課税することで重要な財源を確保し、その代わりに彼らの営業を保護しました。他の選択肢にある律令政治は古代、幕藩体制は江戸時代、議会政治は近代の特徴であるため、混同しないよう注意が必要です。
問7	答え 1 朝貢貿易	室町時代の対明貿易は、当時の東アジアの国際秩序であった「華夷秩序」に基づいて行われました。足利義満は明の皇帝から「日本国王」として認められ、貢ぎ物を送ることで正式な外交ルートを確認しました。これにより、倭寇（海賊集団）と区別された安全な貿易が可能となり、多大な経済的利益と文化的な影響を日本にもたらしました。
問8	答え 2 明から大量の銅銭や生糸が輸入されたことで、国内の貨幣経済や産業の発展が促された。	日明貿易では、日本からは刀剣や硫黄などが輸出され、明からは銅銭（永楽通宝など）や生糸、書画などが輸入されました。特に大量の銅銭が流入したことは、それまで未発達だった日本の貨幣経済を大きく前進させ、市場の活性化につながりました。
問9	答え 3 恩賞などで公家が優遇されたことに不満を持つ武士の支持を集めて挙兵し、京都に新たな天皇を立てたことで、二つの朝廷が並立する南北朝時代が始まった。	建武の新政では、武士の土地所有権が不安定になったり、恩賞が不公平であったりしたため、武士たちはかつての幕府のような武家政権の再興を望みました。足利尊氏はこの期待に応える形で後醍醐天皇に背き、京都（北朝）と吉野（南朝）という二つの朝廷が約60年にわたって争う事態を招きました。なお、南北朝の合一や室町での御所造営は、3代将軍の足利義満の事績です。
問10	答え 2 足利義政	室町幕府の第8代将軍である足利義政は、応仁の乱という動乱期にありながら、東山文化と呼ばれる独自の文化を築きました。第3代将軍の足利義満が建立した金閣（北山文化）が豪華絢爛であるのに対し、義政が建立した銀閣は、わび・さびを感じさせる質素で落ち着いた趣が特徴です。
問11	答え 4 各地の産物である刀剣、陶磁器、染料などを別の地域へ転売して利益を得た。	琉球王国は「万国の津梁（世界の架け橋）」として、各国の「産物」を仲介する役割を担いました。中国からは陶磁器や絹織物、日本からは刀剣、東南アジアからは染料などを仕入れ、これらを他の地域へ売ることで「宝物」を集め、繁栄を築きました。幕府の許可を得て行う朱印船貿易や、キリスト教を伴う南蛮貿易とは異なる形態です。
問12	答え 1 首里	1429年に尚巴志が三山を統一して成立した琉球王国は、現在的那覇市にある首里に都を置きました。首里は、中国から受けた冊封（朝貢貿易）や、地理的利点を生かした東南アジア・日本との中継貿易によって経済的に大きく発展しました。他の選択肢である十三湊は中世の津軽の貿易拠点、漢城は朝鮮王朝の都、大都は元（モンゴル帝国）の都を指します。
問13	答え 1 東山文化	室町幕府の8代将軍である足利義政が、京都の東山に山荘（後の慈照寺）を建てた時期に発展した文化を東山文化と呼びます。この文化では、禅宗の影響を受けて「わび・さび」という質素で深みのある美意識が重んじられました。3代将軍の足利義満による北山文化が公家文化の華やかさを併せ持つのに対し、東山文化はより精神性を重視した点が特徴です。
問14	答え 2 足利氏の一门である細川・斯波・畠山の三氏が交代で任命され、将軍を補佐した。	管領は将軍に次ぐ役職であり、幕府の政務を統括する役割を担いました。足利氏と血縁関係の近い有力な守護大名である細川・斯波・畠山の三家が交代で就任する仕組みとなっており、幕府の権威を維持しつつ、有力大名の不満を抑える側面もありました。

- 問1 1428年に近江（滋賀県）から始まり、京都や奈良など広範囲に広がった「正長の徳政一揆」に関する説明として、当時の社会状況を正しく述べているものはどれですか。（2020年 静岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---------------------------------------|---|--|
| 1. 織田信長が楽市・楽座を導入したことに反対した商人が、寺院と協力して起こした | 2. キリスト教徒が団結し、重い年貢を課す領主に対して武器を持って反抗した | 3. 元寇による軍役の負担に耐えきれなくなった御家人たちが、借金の免除を求めて蜂起した | 4. 幕府が公式に徳政令を出さなかったため、人々は土倉などを襲って自ら借金証文を破棄した |
|--|---------------------------------------|---|--|
- 問2 「二条河原の落書」には、当時の京都で「繪旨（りんじ）」が乱発され、社会が混乱している様子が記されています。この「繪旨」とはどのようなものですか。その性質として正しい説明を選びなさい。（2021年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|---------------------------|
| 1. 平氏が貴族の反乱を抑えるために出した軍事的な指令 | 2. 鎌倉幕府の執権が武士の土地裁判のために定めた法律 | 3. 後醍醐天皇が自らの意向を直接伝えるために出した命令書 | 4. 室町幕府が借金を帳消しにするために出した法令 |
|-----------------------------|-----------------------------|-------------------------------|---------------------------|
- 問3 室町時代に栄えた東山文化では、現代の日本文化に繋がる多くの伝統が生まれました。その中で、雪舟が成し遂げた「水墨画」における歴史的な功績として最も適切な説明を選びなさい。（2017年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 中国の模倣であった水墨画を、日本の風景や感性に合わせた独自の芸術へと高めた | 2. 西洋の遠近法をいち早く取り入れ、日本の伝統的な風景を写実的に描く技法を確立した | 3. 庶民の風俗を生き生きと描く浮世絵を創始し、木版画による多色刷りの技術を広めた | 4. 金箔をふんだんに使用した豪華な障壁画を制作し、武家社会の権威を象徴させた |
|--|--|---|---|
- 問4 室町幕府の三代将軍である足利義満が、明との間で始めた貿易において、当時、東シナ海などで略奪行為を行っていた海賊（倭寇）と、幕府が認めた正式な貿易船を厳格に区別するために用いられた符札の名称を答えなさい。（2019年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-------|-------|--------|
| 1. 御教書 | 2. 勘合 | 3. 割符 | 4. 朱印状 |
|--------|-------|-------|--------|
- 問5 室町幕府の第八代将軍であり、京都の東山に慈照寺（銀閣）を建立したことで知られ、簡素で落ち着いた文化を育んだ人物は誰ですか。（2015年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 足利義政 | 2. 足利義持 | 3. 足利尊氏 | 4. 足利義満 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問6 室町時代に全国へと普及した、一年の間に同じ田畑で米と麦のように異なる作物を交互に栽培する農法を何と呼ぶか、最も適切なものを選びなさい。（2022年 岐阜県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|--------|--------|-------|
| 1. 転作 | 2. 二期作 | 3. 二毛作 | 4. 輪作 |
|-------|--------|--------|-------|
- 問7 足利義満によって始められた日明貿易で、「勘合」と呼ばれる札が用いられた理由として、当時の時代背景をふまえた最も適切な説明はどれですか。（2015年 佐賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| 1. 有力な守護大名が独自に行っていた私貿易を、幕府が完全に管理・独占するため | 2. キリスト教の布教を目的とする宣教師の密航を阻止するため | 3. 元寇による被害に対する賠償金の支払いを、明側に証明させるため | 4. 東アジアの海域で活動していた倭寇と、正規の貿易船を区別するため |
|---|--------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
- 問8 室町時代に惣（惣村）と呼ばれる農民の自治組織が作られ、農民たちが一致団結して自ら村を運営するようになった背景や目的として、最も適切な説明を選びなさい。（2025年 熊本県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---------------------------------------|
| 1. 大名間の貿易を推進し、海外から輸入された品物を村の中で公平に分配するため。 | 2. 幕府からの強い要請により、農民同士で相互監視を行わせて年貢の未納を防ぐため。 | 3. 農業技術の発達に伴い用水の確保や配分が重要になり、戦乱から村を守る必要も高まったため。 | 4. 領主が強制的に農民を移住させ、新しい開墾地を一括して管理させるため。 |
|--|---|--|---------------------------------------|
- 問9 室町幕府の三代将軍である足利義満が、明との間で「勘合」と呼ばれる札を用いた貿易（勘合貿易）を開始した最大の理由として適切な説明はどれですか。（2026年 山形県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|--|
| 1. 正式な貿易船と、沿岸部で略奪を行う海賊集団である倭寇を区別するため | 2. モンゴル帝国の侵攻である元寇に備えて、軍事同盟を結ぶため | 3. キリスト教の布教を許可する代わりに、鉄砲や火薬を輸入するため | 4. 平清盛が行った日宋貿易を引き継ぎ、博多を拠点に大陸との交流を深めるため |
|--------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|--|
- 問10 室町時代、足利義満の保護を受け、父である観阿弥とともに猿楽を洗練させ、舞台芸術としての「能」を大成させた人物は誰ですか。（2023年 大阪府公立入試 類似）
- | | | | |
|--------|-----------|-------|--------|
| 1. 観阿弥 | 2. 近松門左衛門 | 3. 雪舟 | 4. 世阿弥 |
|--------|-----------|-------|--------|
- 問11 鎌倉時代から室町時代にかけて、交通の要所や寺社の門前などで、月に3回などの特定の日に開かれた市場を何と呼びますか。貨幣経済の普及とともに各地で発達したこの市場の名称として正しいものを選択してください。（2022年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|--------|------|-------|
| 1. 楽市 | 2. 三斎市 | 3. 座 | 4. 問丸 |
|-------|--------|------|-------|
- 問12 室町時代、それまでの「猿楽」という芸能をもとに、観阿弥・世阿弥の親子が足利義満などの幕府の保護を受けて大成させた、日本を代表する舞台芸術を選びなさい。（2024年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------|-------|------|--------|
| 1. 人形浄瑠璃 | 2. 落語 | 3. 能 | 4. 歌舞伎 |
|----------|-------|------|--------|
- 問13 鎌倉時代から室町時代にかけて、交通の要所に集まり、馬の背に荷物を載せて物資の運送を専門に行った業者を何と呼びますか。当時の生活の様子を描いた絵巻物などでは、大きな荷を積んだ馬を引いて歩く人々の姿として表現されています。（2026年 神奈川県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------|---------|-------|-------|
| 1. 馬借 | 2. 座の商人 | 3. 飛脚 | 4. 問丸 |
|-------|---------|-------|-------|
- 問14 室町時代に近畿地方を中心に形成された、有力な農民たちによる自治的な村の組織として正しい名称を選びなさい。（2024年 山口県公立入試 類似）
- | | | | |
|------|------|------|--------|
| 1. 座 | 2. 惣 | 3. 問 | 4. 五人組 |
|------|------|------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 幕府が公式に徳政令を出さなかったため、人々は土倉などを襲って自ら借金証文を破棄した	正長の徳政一揆では、代がわりの徳政（将軍が交代する際の債務免除）などを期待した民衆が、幕府がなかなか徳政令を出さないことにしびれを切らし、自分たちで土倉や酒屋、寺院を襲撃しました。当時の奈良の大乗院日記などの記録には、一揆の勢いが凄まじく、日本が始まって以来の出来事であるといった記述が残されています。結果として、幕府は公式な徳政令を出せませんでした。人々は実力で借金を帳消しにしました。
問2	答え 3 後醍醐天皇が自らの意向を直接伝えるために出した命令書	建武の新政において、後醍醐天皇はそれまでの先例や慣習を否定し、すべての物事を天皇の直接の意志である「綸旨」によって決定しようとしていました。しかし、土地の所有権などをめぐって内容の矛盾する綸旨が次々と出されたことが、武士たちの大きな混乱と反感を買う原因となりました。
問3	答え 1 中国の模倣であった水墨画を、日本の風景や感性に合わせた独自の芸術へと高めた	雪舟が登場するまでの日本の水墨画は、中国の宋や元の画風を模倣する段階にありました。雪舟は実際に明へ渡って本場の技術を吸収した上で、日本の山河にふさわしい構図や、太く力強い輪郭線を用いる独自の画風を確立しました。これが、日本における水墨画の自立と完成と言われています。
問4	答え 2 勘合	足利義満は明の皇帝から日本国王として認められ、日明貿易を開始しました。当時、沿岸部を荒らす倭寇の存在が国際問題となっており、明側からその取り締まりを強く求められていました。そこで、中央に「本」という文字などが書かれた紙を左右半分に切り、日本側と明側でそれぞれ保管し、入港時にそれらを照合することで、正式な貿易船であることを証明する仕組みが導入されました。
問5	答え 1 足利義政	彼は政治の実権からは距離を置くようになりましたが、銀閣を拠点に茶の湯や生け花、書院造といった後の日本文化の源流となる東山文化を大成させました。武家の力強さと禅宗の精神性が融合した、わび・さびを基調とする文化の保護者として歴史に名を残しています。
問6	答え 3 二毛作	鎌倉時代に西日本から始まり、室町時代に全国へと広がったこの農法は、夏に米を、冬に麦を栽培する形式が一般的です。一年に同じ作物を2回収穫する「二期作」とは、栽培する作物の種類が異なる点で区別されます。
問7	答え 4 東アジアの海域で活動していた倭寇と、正規の貿易船を区別するため	当時、朝鮮半島や中国の沿岸部では、倭寇という海賊集団が激しい活動を行っており、明の政府は日本側にその取り締まりを強く求めています。これに対し、足利義満は明との正式な国交を樹立。明から与えられた「勘合」を所持する船だけを正規の貿易船として認める仕組みを作ることで、倭寇による密貿易や略奪を排除し、国家間の安定した貿易を実現しようとしていました。
問8	答え 3 農業技術の発達に伴い用水の確保や配分が重要になり、戦乱から村を守る必要も高まったため。	室町時代には農業技術が向上して二毛作などが広まり、水の管理や共同作業の重要性が増しました。また、武士同士の争いから自分たちの村や暮らしを自衛する必要があったことも、農民が団結して自治を行う要因となりました。
問9	答え 1 正式な貿易船と、沿岸部で略奪を行う海賊集団である倭寇を区別するため	当時の中国沿岸では倭寇による被害が激化しており、明は日本に対して海賊の取り締まりを求めました。足利義満はこれに応じ、「日本国王」として明の冊封体制に入ることによって正式な貿易を開始しました。その際、倭寇（海賊船）と正式な貿易船を見分けるために、割印を押した「勘合」という札を持参させる仕組みを作りました。
問10	答え 4 世阿弥	室町幕府の第3代将軍である足利義満は、北山文化の時期に多くの文化人を保護しました。その中で世阿弥は、父の観阿弥とともにそれまでの猿楽（田楽や猿楽などの庶民的な芸能）を洗練された歌舞劇へと発展させ、現代まで続く「能」を完成させました。観阿弥は世阿弥の父、雪舟は室町時代の水墨画家、近松門左衛門は江戸時代の人形浄瑠璃の作者です。
問11	答え 2 三斎市	中世日本では、交通の利便性が高い場所や人が集まる寺社の前で、日にちを決めて市場が開かれるようになりました。当初は月に3回開かれる「三斎市」が一般的でしたが、経済がさらに活性化した室町時代後半には、月に6回開かれる「六斎市」へと発展しました。これにより、地方の特産物や手工業品が貨幣を通じて広く流通するようになりました。
問12	答え 3 能	鎌倉時代から南北朝時代にかけて行われていた猿楽などの民衆芸能を、室町時代に観阿弥とその息子の世阿弥が芸術性の高い舞台へと高めました。足利義満が将軍の厚い保護を受けたことで、武士の教養としての地位を確立しました。なお、歌舞伎や人形浄瑠璃は江戸時代に大きく発展した文化です。
問13	答え 1 馬借	中世の日本において、馬を利用して物資を運搬することを職業とした人々を馬借と呼びます。彼らは港（津）や関所、宿場といった交通の要点に拠点を置き、陸上交通における流通の主役として活動しました。なお、問丸は港湾での物資保管や中継を行う業者であり、飛脚は主に江戸時代に発達した通信制度を指します。
問14	答え 2 惣	室町時代には、農民の自立性が高まり、近畿地方を中心に「惣（惣村）」と呼ばれる自治組織が作られました。有力な農民が中心となり、村の重要事項を決めるための会議である「寄合」を開いて運営されました。「座」は同業者の組合、「問（問丸）」は輸送や委託販売を行う業者、「五人組」は江戸時代に整備された相互監視と連帯責任の制度です。

問1 15世紀前後のアジア諸国との貿易において、九州の港町である博多が果たした役割や背景についての説明として、最も適切なものはどれか。

(2025年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|---|--|---------------------------------------|
| 1. 自由都市として栄え、種子島に伝来した鉄砲を大量生産する拠点となった。 | 2. 遣隋使や遣唐使の時代から、近畿地方にある唯一の対外貿易港として知られた。 | 3. 勘合貿易を独占的に管理するため、室町幕府が本拠地を置いた唯一の港であった。 | 4. 日明貿易の拠点として機能し、大陸の文化や物資が流入する窓口となった。 |
|---------------------------------------|---|--|---------------------------------------|

問2 12世紀後半から16世紀後半にかけての日本の建築や文化の変遷をまとめた記録において、慈照寺銀閣が造営された時代背景やその特徴を述べた文として、最も適切なものはどれですか。

(2017年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 大陸との貿易による富を背景に、武家と公家の文化が融合した金箔を多用する豪華な様式で建立された。 | 2. 応仁の乱などの動乱が続く中、政治から退いた足利義政が隠居所として営み、自身の精神性を反映させた。 | 3. 戦国大名が自らの権力を誇示するため、天守閣を備えた壮大な城郭建築が各地に築かれた。 | 4. 鎌倉幕府の成立に伴い、質実剛健な武士の気風を象徴する重層的な寺院建築が全国に広まった。 |
|--|---|--|--|

問3 室町時代の14世紀から15世紀にかけて、農民たちが自立性を強め、自衛や灌漑用水の管理を行うために結成した自治的な村の組織を何といいますか。

(2018年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|-----------|------|
| 1. 蔵屋敷 | 2. 口分田 | 3. 惣 (惣村) | 4. 座 |
|--------|--------|-----------|------|

問4 室町時代に大成された芸能である「能」の背景について述べた文章として、最も適切なものを選んでください。

(2017年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 8代将軍足利義政が、庶民の間で流行していた歌舞伎を武士の教養として取り入れるよう命じたことで確立された。 | 2. 3代将軍足利義満が観阿弥・世阿弥の親子を保護し、幕府の儀式に採用されるなどの支援を行ったことで大成された。 | 3. 日明貿易 (勘合貿易) によって明から伝来した仮面劇が、日本の伝統的な神楽と結びついて成立した。 | 4. 江戸時代の身分制度のもとで、武士のみが鑑賞を許される格調高い芸術として、幕府の直轄地で独自に発展した。 |
|---|--|---|--|

問5 15世紀から16世紀にかけて、琉球王国は東アジアや東南アジアを結ぶ海上交通の要所として繁栄しました。この時期の琉球が行った、他国から輸入した産物を加工せずにそのまま別の国へ輸出することで利益を得る貿易形態を何といいますか。

(2019年 広島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 朝貢貿易 | 2. 勘合貿易 | 3. 南蛮貿易 | 4. 中継貿易 |
|---------|---------|---------|---------|

問6 室町幕府の組織において、将軍を補佐して幕政全体を統括した最高の役職を何といいますか。足利氏の一族である細川・斯波・畠山の三氏といった、有力な守護大名から交代で選ばれた役職名を答えなさい。

(2026年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 老中 | 2. 執権 | 3. 大老 | 4. 管領 |
|-------|-------|-------|-------|

問7 足利義満によって始められた日明貿易で、「勘合」と呼ばれる札が用いられた理由として、当時の時代背景をふまえた最も適切な説明はどれですか。

(2015年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|---|--------------------------------|
| 1. 東アジアの海域で活動していた倭寇と、正規の貿易船を区別するため | 2. 元寇による被害に対する賠償金の支払いを、明側に証明させるため | 3. 有力な守護大名が独自に行っていた私貿易を、幕府が完全に管理・独占するため | 4. キリスト教の布教を目的とする宣教師の密航を阻止するため |
|------------------------------------|-----------------------------------|---|--------------------------------|

問8 室町時代の文化において、雪舟によって日本独自の水墨画が確立されるに至った背景として、最も適切な説明はどれか答えなさい。

(2021年

高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 遣唐使の廃止によって国風文化が発達し、日本独自の色彩豊かな絵画様式が求められたこと | 2. 江戸幕府の文教政策によって、町人の間でも手軽に楽しめる多色刷りの版画が流行したこと | 3. 南蛮貿易によってヨーロッパの油彩画の技術が伝わり、遠近法を用いた写実的な表現が広まったこと | 4. 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと |
|--|--|--|---|

問9 室町時代の文化の特色について、特に慈照寺 (銀閣) にある「東求堂同仁斎」に代表される建築様式とその背景を説明した文として、最も適切なものはどれか。

(2019年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 貴族の住居様式である寝殿造を簡略化し、外観に金箔を貼ることで、武士の権力と浄土への憧れを視覚的に表現した。 | 2. 宋から伝わった大仏様という力強い建築様式が採用され、民衆の力強さを象徴する巨大な木造建築が各地に建立された。 | 3. 仏教の無常観に基づき、質素な隠遁生活を好む文人の精神を反映した、壁のない開放的な庵のような建築様式が流行した。 | 4. 禅宗の影響を受け、畳を敷き詰め、床の間や連棚、ふすま、障子などを設けた書院造が確立され、のちの日本家屋の原型となった。 |
|--|---|--|--|

問10 鏡湖池のほとりに建ち、金箔が施された三層の楼閣で知られる文化遺産が建立された時期の、外交や経済の背景について述べた文として正しいものはどれですか。

(2016年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 幕府が明 (みん) との間で、倭寇と正式な貿易船を区別するための「勘合」を用いた貿易を開始し、財政を潤した時期にあたる。 | 2. 日宋貿易によって大量の宋銭が国内に流入し、貨幣経済が全国的に普及し始めた平安時代末期の時期にあたる。 | 3. 元寇の際の恩賞が不十分だったことから、御家人の生活が困窮し、幕府の権威が急速に衰退していた時期にあたる。 | 4. 豊臣秀吉による朝鮮出兵が失敗に終わり、東アジアにおける日本の外交的立場が孤立していた時期にあたる。 |
|---|---|---|--|

問11 鎌倉時代から室町時代にかけて、武家政権の支配力が全国へと拡大していく過程を説明した内容として、歴史的事実に基づいた正しいものはどれですか。

(2024年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 後鳥羽上皇が隠岐に流される前に南北朝の合体が行われ、それを不服とした守護・地頭が応仁の乱を引き起こして戦国時代が始まった。 | 2. 承久の乱で後鳥羽上皇が幕府を倒したことで武家政治は一時中断したが、足利尊氏が南北朝の合体を成し遂げて再び武家支配を確立した。 | 3. 応仁の乱によって幕府の権威が全国に及ぶようになり、守護・地頭が各地の守護大名へと成長して南北朝を合体させた。 | 4. 源頼朝が守護・地頭を設置して全国支配の基礎を固めた後、承久の乱で後鳥羽上皇を破って六波羅探題を置き、支配を西国まで広げた。 |
|--|---|---|--|

問12 14世紀末から15世紀前半にかけて、日本と明との間で国交が樹立され貿易が始まった時期の対外関係の状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。

(2026年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 南蛮貿易の開始によって海賊の取り締まりが不要になり、倭寇の活動が沈静化した。 | 2. 明との貿易が全面的に禁止されたため、私的な密貿易を行う倭寇の活動が急増した。 | 3. 明からの要求を受けて倭寇の取り締まりが進められ、海賊の活動回数が激減した。 | 4. 朱印状を持った貿易船の増加に伴い、沿岸部での海賊行為がより激しくなった。 |
|---|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 日明貿易の拠点として機能し、大陸の文化や物資が流入する窓口となった。	博多は、足利義満が始めた日明貿易（勘合貿易）において、九州側の拠点として非常に重要な役割を担った。また、明だけでなく琉球王国や東南アジア諸国との中継貿易も行われ、大陸の高度な文化や貴重な物資が日本へ持ち込まれる入り口となった。選択肢にある「鉄砲の量産」は堺や国友、「近畿地方にある」は堺や兵庫の説明であるため誤りとなる。
問2	答え 2 応仁の乱などの動乱が続く中、政治から退いた足利義政が隠居所として営み、自身の精神性を反映させた。	足利義政は応仁の乱という大きな戦乱の最中に、政治から離れて東山山荘（慈照寺）の造営に没頭しました。この隠居所での生活から、禅宗の教えに基づいた簡素な美しさを尊ぶ東山文化が深化しました。金箔を用いた豪華な様式は、義満の時代の金閣（北山文化）の特徴であり、銀閣とは対照的です。
問3	答え 3 惣（惣村）	室町時代、農民たちは「寄り合い」と呼ばれる会議を開いて村独自のルール（村の掟）を定め、自分たちで村を運営するようになりました。このような自治組織を「惣（惣村）」と呼びます。選択肢にある「座」は商工業者の同業者組合、「蔵屋敷」は江戸時代に諸藩が年貢米などを売るために設けた施設、「口分田」は古代の律令制下で農民に割り当てられた土地を指します。
問4	答え 2 3代将軍足利義満が観阿弥・世阿弥の親子を保護し、幕府の儀式に採用されるなどの支援を行ったことで大成された。	能は、もともと寺社の祭礼などで演じられていた猿楽や田楽をもとに、観阿弥・世阿弥親子によって芸術として完成されました。時の権力者である足利義満が彼らの才能を見出し、手厚い保護を与えたことが、能が武家社会の公式な芸能として定着する大きな要因となりました。歌舞伎は江戸時代の文化であり、能は室町時代を代表する芸能です。
問5	答え 4 中継貿易	琉球王国は自国の産物だけでなく、明（中国）から輸入した生糸や陶磁器を日本へ、日本から輸入した刀剣や銅を明や東南アジアへ、さらに東南アジアの香辛料を明や日本へ転売する役割を担いました。このように、他国間の取引を仲介する貿易を中継貿易と呼びます。当時、明が民間人の海外渡航を禁じていた「海禁」政策をとっていたことも、琉球が仲介役として活躍できた一因です。
問6	答え 4 管領	室町幕府において将軍に次ぐ最高の地位を管領と呼びます。鎌倉幕府の執権に相当する役割を担いましたが、特定の一族が独占した執権とは異なり、有力な守護大名が持ち回りで就任する仕組みとなっていたのが特徴です。これにより、将軍と有力大名の協力による連合政権的な性格が強まりました。
問7	答え 1 東アジアの海域で活動していた倭寇と、正規の貿易船を区別するため	当時、朝鮮半島や中国の沿岸部では、倭寇という海賊集団が激しい活動を行っており、明の政府は日本側にその取り締まりを強く求めています。これに対し、足利義満は明との正式な国交を樹立。明から与えられた「勘合」を所持する船だけを正規の貿易船として認める仕組みを作ることで、倭寇による密貿易や略奪を排除し、国家間の安定した貿易を実現しようとした。
問8	答え 4 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと	室町時代に水墨画が発展した大きな要因は、足利義満が始めた勘合貿易（日明貿易）です。この貿易船には多くの禅僧が同行しており、彼らが中国の明で最新の文化や絵画技法を学び取ってきたことが、雪舟による日本的な水墨画の完成に繋がりました。他の選択肢は平安時代（国風文化）、安土桃山時代（南蛮文化）、江戸時代（元禄・化政文化）の内容であるため誤りです。
問9	答え 4 禅宗の影響を受け、畳を敷き詰め、床の間や違棚、ふすま、障子などを設けた書院造が確立され、のちの日本家屋の原型となった。	足利義政の時代に栄えた東山文化では、禅宗の影響を強く受けた簡素で奥深い美しさが尊ばれた。東求堂同仁齋に代表される書院造は、現代の和室に繋がる畳・障子・床の間といった要素を整えた様式である。他の選択肢のうち、大仏様は鎌倉時代、金箔を用いた豪華な様式（金閣など）は北山文化、無常観に基づく文学的背景は鎌倉時代の随筆などの特徴であり、東求堂同仁齋の説明としては適さない。
問10	答え 1 幕府が明（みん）との間で、倭寇と正式な貿易船を区別するための「勘合」を用いた貿易を開始し、財政を潤した時期にあたる。	鹿苑寺金閣を建立した足利義満は、明との間で日明貿易（勘合貿易）を始めました。この貿易による莫大な利益が、金箔をふんだんに使用した豪華な建築や、観阿弥・世阿弥による能の大成といった北山文化の発展を支える経済的基盤となりました。この時期は足利義満が南北朝の合体を成し遂げ、室町幕府の全盛期を築いた時代でもあります。
問11	答え 4 源頼朝が守護・地頭を設置して全国支配の基礎を固めた後、承久の乱で後鳥羽上皇を破って六波羅探題を置き、支配を西国まで広げた。	鎌倉幕府は源頼朝の時期に守護・地頭を設置し、土地の管理や警察権を握ることで支配の基盤を作りました。1221年の承久の乱において、幕府打倒を試みた後鳥羽上皇が隠岐へ配流されると、幕府は京都に六波羅探題を設置して朝廷の監視を強めるとともに、それまで影響力が弱かった西国へも支配権を拡大させました。南北朝の合体や応仁の乱は、その後の室町時代における出来事です。
問12	答え 3 明からの要求を受けて倭寇の取り締まりが進められ、海賊の活動回数が激減した。	明は国交樹立の条件として海賊である倭寇の排除を要求しました。室町幕府がこれに応じて取り締まりを行ったため、14世紀末から15世紀前半にかけて倭寇の活動回数は大きく減少しました。

- 問1 ヨーロッパの商船が日本に渡来して大量の銀を持ち帰るようになった16世紀より前、13世紀末にアジアでの旅行体験を『世界の記述』として書き残し、ヨーロッパ人のアジアへの関心を深めさせた人物として適切なものを選択肢から1つ選びなさい。 (2026年 徳島県公立入試 類似)
1. マゼラン 2. マルコ=ポーロ 3. ヴァスコ・ダ・ガマ 4. コロンブス
- 問2 室町時代、京都などの都市部で酒造業を営む傍ら、質入れを受けて高利貸しを行い、莫大な利益を上げていた業者を何と呼びますか。幕府の重要な財源として保護を受けていた業者を組み合わせさせて答えなさい。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 酒屋・土倉 2. 問屋・座 3. 守護・地頭 4. 惣村・寄合
- 問3 室町時代、近畿地方を中心に農民たちが自衛や用水の管理などを目的として結成した、自治的な村組織を何と呼びますか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. 座 2. 株仲間 3. 惣村 4. 問丸
- 問4 北海道にある「札幌（サッポロ）」や「小樽（オタル）」などの地名は、ある人々の言葉に由来しています。この地名の由来となった人々と、その歴史的背景について説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2022年 沖縄県公立入試 類似)
1. アイヌ民族の言葉であるアイヌ語がもとになっており、古くからその土地で生活していた歴史を反映している。 2. 江戸時代に松前藩が、交易を有利に進めるために独自の文字を考案して命名したものである。 3. 明治時代に開拓に従事した屯田兵が、出身地の地名をそのまま付けたことに由来している。 4. 古代の朝廷から派遣された人々が、現地の地形を漢字の意味に合わせて名付けたものである。
- 問5 ある地域の歴史年表において、400年頃の古代から1863年の近代までの流れが示されています。このうち、1398年が含まれる院政期から室町時代の終わり頃までの時代区分を指す名称として適切なものはどれですか。 (2017年 鳥取県公立入試 類似)
1. 古代 2. 中世 3. 近代 4. 近世
- 問6 能に関する歴史的背景や特徴について述べた記述として、最も適切なものを説明文の中から選びなさい。 (2024年 群馬県公立入試 類似)
1. 江戸時代の初めに、出雲の阿国が始めた踊りがもととなり、都市の庶民の間で流行した。 2. 平安時代に貴族の間で親しまれた和歌や蹴鞠が、武士の作法として制度化されたものである。 3. 室町時代の将軍の保護を受け、観阿弥・世阿弥によって芸術として完成された。 4. 近松門左衛門が脚本を書き、三味線の伴奏に合わせて人形を操る芸能として発展した。
- 問7 日明貿易を開始した足利義満は、明の皇帝から「日本国王」という称号を授かり、臣下の礼をとる形で貿易を行いました。この貿易において、明に持参する側の証明札（勘合）に記されていた、義満の立場を示す言葉の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
1. 太政大臣 2. 征夷大將軍 3. 日本国王 4. 執権
- 問8 室町時代に栄えた東山文化では、現代の日本文化に繋がる多くの伝統が生まれました。その中で、雪舟が成し遂げた「水墨画」における歴史的な功績として最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 香川県公立入試 類似)
1. 中国の模倣であった水墨画を、日本の風景や感性に合わせた独自の芸術へと高めた 2. 金箔をふんだんに使用した豪華な障壁画を制作し、武家社会の権威を象徴させた 3. 庶民の風俗を生き生きと描く浮世絵を創始し、木版画による多色刷りの技術を広めた 4. 西洋の遠近法をいち早く取り入れ、日本の伝統的な風景を写実的に描く技法を確立した
- 問9 14世紀末の朝鮮半島では、高麗を倒した人物によって新たに朝鮮（朝鮮国）が建国されました。この建国を成し遂げ、初代の王となった人物は誰か、正しい名称を選びなさい。 (2024年 埼玉県公立入試 類似)
1. 李成桂 2. 王建 3. 大祚宗 4. 金春秋
- 問10 歴史的な書物が編纂された目的や時代背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2018年 東京都公立入試 類似)
1. 江戸時代に、室町文化を代表する能の理論を広く一般に普及させるため『風姿花伝』が刊行された。 2. 平安時代の国風文化の中で、武士の合戦の様子を詳しく描いた『蒙古襲来絵詞』が広く読まれた。 3. 鎌倉時代に、貴族の華やかな宮廷生活を懐かしむために『枕草子』が執筆された。 4. 奈良時代には、大陸の歴史書にならい、天皇を中心とした国家の歴史を記す『日本書紀』が作られた。
- 問11 14世紀後半から15世紀にかけて、首里を中心とした琉球諸島は、日本、中国、朝鮮、東南アジアの各方面を結ぶ拠点として繁栄しました。このように、他国から仕入れた産物を周辺諸国に転売することで利益を得る貿易形態を何といいますか。 (2019年 山口県公立入試 類似)
1. 中継貿易 2. 勘合貿易 3. 朱印船貿易 4. 朝貢貿易
- 問12 室町時代の社会と文化について述べた説明として、農民の自治組織の名称と、当時完成された芸能の組み合わせが正しいものはどれですか。 (2022年 徳島県公立入試 類似)
1. 自治組織は「五人組」と呼ばれ、芸能では「人形浄瑠璃」が始まった。 2. 自治組織は「惣」と呼ばれ、芸能では「能」が大成された。 3. 自治組織は「株仲間」と呼ばれ、芸能では「狂言」が武士の間で広まった。 4. 自治組織は「座」と呼ばれ、芸能では「歌舞伎」が流行した。
- 問13 15世紀ごろ、琉球王国が東アジアや東南アジアを結ぶ交易で大きな利益を上げることができた背景には、当時の明（中国）が行っていた政策が深く関わっています。その政策の内容と琉球の関係について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2025年 山口県公立入試 類似)
1. 明が民間人の自由な海外渡航や貿易を制限する海禁政策をとるなかで、琉球は正式な朝貢国として貿易を認められ、各地の産物を明に運ぶ役割を担った。 2. 明が日本との間で勘合（合札）を用いた貿易を独占的に行ったため、その中継地点として琉球の港が明によって直接管理・運営された。 3. 明が東南アジア諸国との貿易を全面的に禁止したため、琉球は明の許可を得ることなく、密貿易の拠点として東南アジアの香辛料を日本へ運んだ。 4. 明がキリスト教の布教を伴う貿易を奨励したため、キリスト教を受け入れた琉球王国は、ヨーロッパ諸国とアジアを結ぶ唯一の窓口となった。
- 問14 室町時代の京都において、応仁の乱などの戦乱によって荒廃した都市を復興させ、自衛や自治のために組織を結成した有力な商工業者を何と呼びますか。 (2024年 石川県公立入試 類似)
1. 町衆 2. 五人組 3. 株仲間 4. 惣

答え合わせ・解説

問1	答え 2 マルコ＝ポーロ	13世紀末にアジアを旅し、その体験を『世界の記述』（東方見聞録）としてまとめた人物はマルコ＝ポーロです。彼の著書はヨーロッパ人のアジアに対する関心を高め、後の大航海時代へ大きな影響を与えました。
問2	答え 1 酒屋・土倉	室町時代、貨幣経済の浸透に伴い、醸造業を営む「酒屋」や質屋である「土倉」が、蓄えた資本を元手に高利貸しとして成長しました。室町幕府は彼らに「酒屋役」や「倉役」などの税を課す代わりに、その営業を保護し、幕府の財政基盤として利用しました。
問3	答え 3 惣村	室町時代になると、農民が団結して自立的に運営を行う「惣村」が形成されました。惣村では、村の神社などで「寄合」と呼ばれる会議を開き、入会地の管理や用水の配分、年貢の納入交渉などを共同で行いました。こうした自治の広がりには、当時の農民が社会的地位を高めていたことを示しています。
問4	答え 1 アイヌ民族の言葉であるアイヌ語がもとになっており、古くからその土地で生活していた歴史を反映している。	北海道の地名の多くは、先住民族であるアイヌ民族の言葉（アイヌ語）に由来しています。例えば「サッ・ポロ・ベツ（乾いた大きな川）」が札幌に、「オタ・オル・ナイ（砂浜の中の川）」が小樽になったとされています。これは、アイヌ民族が北海道の全域で、地形や自然の特徴を捉えながら長く生活を営んできた証拠といえます。解答の選択肢を検討する際、単に「アイヌ」だけでなく「民族」まで含めた名称で理解することが重要です。
問5	答え 2 中世	日本の歴史区分では、律令国家が成立した古代の後に続き、武士が政治の表舞台に現れる院政期から、室町幕府が滅亡するまでの時期を「中世」と呼びます。1398年は室町幕府の第3代将軍である足利義満が、京都の北山に金閣を建立するなど権力を振るっていた時期に当たります。
問6	答え 3 室町時代の将軍の保護を受け、観阿弥・世阿弥によって芸術として完成された。	能は、足利義満という強力なパトロン（保護者）を得たことで、単なる見世物から高い芸術性を持つ舞台へと発展しました。選択肢にある「出雲の阿国」は歌舞伎、「近松門左衛門」は人形浄瑠璃の解説であり、いずれも江戸時代の町人文化の特徴を示しています。能はこれらより前の室町時代に、幕府という武力組織の頂点にある人々の支援を受けて確立されました。
問7	答え 3 日本国王	日明貿易は、中国の皇帝が周辺諸国の王に地位を与え、その返礼として朝貢（貢ぎ物）を受け取る「朝貢貿易」の形式をとっていました。足利義満は明の皇帝から「日本国王」として冊封（称号を授かること）されたため、勘合には日本の正統な統治者であることを示す「日本国王」という文字が記されていました。これにより、幕府は莫大な貿易利益を得るとともに、その国際的な地位を高めました。
問8	答え 1 中国の模倣であった水墨画を、日本の風景や感性に合わせた独自の芸術へと高めた	雪舟が登場するまでの日本の水墨画は、中国の宋や元の画風を模倣する段階にありました。雪舟は実際に明へ渡って本場の技術を吸収した上で、日本の山河にふさわしい構図や、太く力強い輪郭線を用いる独自の画風を確立しました。これが、日本における水墨画の自立と完成と言われています。
問9	答え 1 李成桂	1392年に武将であった李成桂が高麗を倒し、漢陽（現在のソウル）を都として朝鮮を建国しました。この国は儒教を政治の理念に掲げ、中央集権的な国家体制を整えました。選択肢にある王建は高麗の建国者、大祚榮は渤海の建国者、金春秋は新羅の統一に関わった人物です。
問10	答え 4 奈良時代には、大陸の歴史書にならい、天皇を中心とした国家の歴史を記す『日本書紀』が作られた。	古代の律令国家は、国内外に対して国家の成り立ちを示す必要があり、奈良時代に『日本書紀』を編纂しました。『枕草子』は平安時代の国風文化を代表する随筆であり、『蒙古襲来絵詞』は鎌倉時代の元寇に関連する史料です。また、『風姿花伝』は室町時代に世阿弥によって記された能の理論書であり、江戸時代に一般普及を目的として作られたものではありません。
問11	答え 1 中継貿易	14世紀から16世紀にかけての琉球王国は、その地理的利点を活かし、中国、日本、朝鮮、そして東南アジアを結ぶ窓口として機能しました。この貿易は「なかつぎぼうえき」とも呼ばれ、特定の国との二国間取引にとどまらず、アジア各地の産物を集積し、需要のある他国へ転売することで莫大な富を築きました。選択肢にある朝貢貿易は中国の皇帝に貢物を捧げる形式、朱印船貿易は江戸時代初期に幕府の許可を得て行われた貿易、勘合貿易は室町時代に足利義満が始めた日明貿易を指します。
問12	答え 2 自治組織は「惣」と呼ばれ、芸能では「能」が大成された。	室町時代、農民たちは「惣」を結成して村を運営し、領主に対して団結して交渉を行うようになりました。文化面では、観阿弥・世阿弥の親子によって「能」が大成され、幕府の保護を受けながら発展しました。「座」は商工業者の組合であり、「歌舞伎」「人形浄瑠璃」は江戸時代に開花した文化です。また「五人組」や「株仲間」も江戸時代の制度や組織です。
問13	答え 1 明が民間人の自由な海外渡航や貿易を制限する海禁政策をとるなかで、琉球は正式な朝貢国として貿易を認められ、各地の産物を明に運ぶ役割を担った。	当時の明は「海禁」という政策により、許可のない私的な海外貿易を厳しく禁じていました。しかし、明の皇帝に対して貢ぎ物を捧げる「朝貢」の形式をとる貿易は認められていたため、琉球はこの仕組みを利用して、明が欲しがると東南アジアの産物や日本の品物を運び入れました。周辺諸国の貿易が制限されていたからこそ、朝貢を許された琉球の仲介機能が極めて重要なものとなりました。
問14	答え 1 町衆	室町時代の京都では、豊かな経済力を持つ商工業者たちが「町衆」と呼ばれる自治組織を形成しました。彼らは応仁の乱で荒れ果てた町の復興を主導し、自分たちの手で町を管理・運営しました。一方、選択肢にある「惣（惣村）」は同時期の農村における自治組織であり、「株仲間」や「五人組」は江戸時代の制度です。